

The Lions News

DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

<http://www.lions330-a.org/>



2013 Spring



撮影：L津守 勝男



- オリンピック・パラリンピック招致の署名運動 各リジョン、ゾーン、クラブ
- 日本赤十字社本社を訪問 地区ガバナーらが日赤本社訪問
- 国際協会の補助金事業 家族会員・ライオンズカード推進委員会
- キャビネットだより 各委員会セミナー開催される
- 地区内クラブだより 地区内クラブの活動レポート
- 障がい者スポーツ大会 地区内活動情報
- 第59回地区年次大会 ライオンズクラブ国際協会330-A地区年次大会



TOKYO ● 2020
CANDIDATE CITY



各地で2020 オリンピック・ 招致の署名運

2013年1月2日、3日には“浅草浅草寺の雷門前”や、大田区の“池上本門寺の入り口付近”など地区内の各地に於いて、「2020年東京にオリンピック・パラリンピックを招致しよう」と署名運動が行われている活動はすでに前号でお伝えしたが、引き続き、署名運動は地区内各地で、各リジョン、ゾーンなどで協力して行われている。

1月19日(土)には第6リジョンの2ゾーンの6クラブ(東京上野LC、東京上野南LC、東京鶯谷LC、東京不忍LC、東京上野東LC、東京イーストLC)のメンバー約60名が参加して、上野公園内の“近代美術館前”で署名運動を行った。

また、2013年1月26日(土)も地区内の数か所に於いて署名運動が行われた。この日実施したのは第10リジョン17クラブのメンバー約50名が“JR渋谷駅近くのモヤイ像前”と“京王井の頭線渋谷駅ガード近く”に分かれて運動したほか、第1リジョン1ゾーンのクラブメンバー約60名が“数寄屋橋交差点宝くじ売り場付近”で活動を実

巣鴨



数寄屋橋



上野

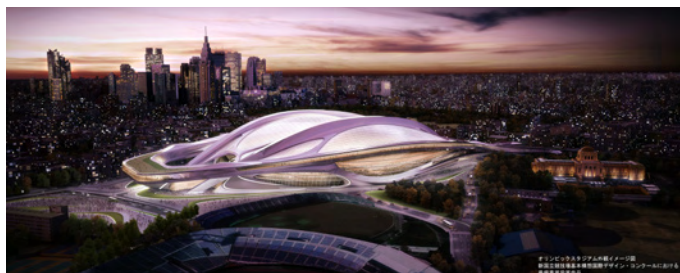


年 パラリンピック 動



施した。さらに同日、第12リジョンでも16クラブのメンバー計約70名が“小田急線町田駅ビル東口広場”並びに“JR吉祥寺駅近く”にて署名運動を行い、この日は同時に都内数か所で活動が実施された。

さらに、2013年2月16日(土)JR巣鴨駅前において第8リジョンの13クラブが合同で延べ約60名のメンバーが署名活動を実施した。当日は“十文字学園”の生徒らの協力も得られ、4時間の街頭活動で約2000名の署名を得た。事前に集めた署名とともに地区合計50894名もの署名を集めてキャビネット事務局に届けられた。



渋谷



吉祥寺・府中



地区リーダーらが日本赤十字社本社を訪問

3月4日



地区ガバナーほか4名が本社を訪問

2013年3月4日(月)阿久津地区ガバナー、河合複合地区ガバナー協議会議長、山浦元国際理事は案内役のL静永純一、並びに同行した柴田広報委員長と共に日本赤十字社本社を訪れ、大塚義治副社長に面談した。日本赤十字社とライオンズクラブは互いに奉仕活動を通じて協力関係にあり、奉仕活動のパートナーともいえる。そうした関係から、このたびの本社訪問となった。港区芝大門の日本赤十字社本社を訪れた一行は役員室に案内され、近衛社長が会議中のため大塚副社長と面談した。

多忙を極める近衛社長の立場

“国際赤十字・赤新月社連盟(連盟)の会長”を務める近衛社長が多忙であるとの話題から、山浦元国際理事が「ライオンズでも国際役員が多忙さや、国際会長を目指す日本の立場と国際会長選挙について」説明すると、連盟でも一国で1票の投票権がある熾烈な会長選があるようで、世界的な支持を得られる近衛社長は、現在連盟会長に就任されて三年半が経過するという。互いに、国際社会の中での奉仕活動に関係する団体として、日本の立場と責任について親しみを込めた意見交換が行われた。

献血活動と大震災当時の対応について

案内役のL静永純一が話題をライオンズクラブが支援する献血活動に移すと、東日本大震災当時の話題になり、河合議長からは自身が地区ガバナー在任中の「一大イベント当日の準備中の出来事で忘れられない思い出、となった大震災当時の模様が伝えられた」震災時の被災者へ輸血用血液に関しては意外にも「被災者の多くが津波による被害を受けたので、輸血用血液の需給は最悪の状況ではなかった」と説明があった。しかしながら、震災当時の緊迫した状況は相当なもので、ボランティア団体の活躍と日本赤十字社職員らの活躍が感じられた。



地区内での献血呼びかけ活動について

阿久津地区ガバナーは「地区内ではお正月早々から地区内メンバーらが献血を呼びかけている」状況を地区誌などを示して説明すると「大変感謝している」と感謝の言葉が述べられた。一方、将来「ますます高齢化する日本社会で若年層の献血者にどのように呼びかけ理解を求めていくのか」と言う課題についても意見交換が行われ、広報委員長は「きれいになった献血ルームや、辰巳の血液センターなどもライオンズの東京地区広報誌などで紹介している」旨説明すると今後の協力関係について互いに再確認する面談となりました。

社長、副社長らの見送りを受けた一行は「話題にも出たAKB48のポスター」が飾られた日本赤十字社本社の1階ロビーを後にした。

近衛社長と記念撮影

一行が、副社長との面談を終えると近衛社長が現れ「訪問に対する感謝と日頃の協力を敬意を表する」旨、笑顔で伝えられ、訪問者との記念写真を依頼すると、快く笑顔で応じていただけた。



日本赤十字社(にほんせきじゅうじしゃ)

世界187か国の赤十字・赤新月社ネットワークの中の一社として、人間の命と尊厳を守り、苦痛の軽減を目的として活動する法人。日頃から青少年教育、看護師養成、救急法等講習や病院・血液センター・社会福祉施設等を運営している。災害などの緊急時には、国際・国内のネットワークを活かして活動を展開する。



▲社紋
明治20年に、明治天皇の后であった昭憲皇太后自ら、かんざしに彫刻されている桐竹鳳凰文様の使用を許可され、その文様に赤十字を配したものの。

キャビネットだより

国際協会の補助金を得て、都内の数か所で同時に“男の料理教室”を実施

2月3日

地区家族会員・ライオンズカード推進委員会

国際協会の会員プログラム新クラブ・マーケティング補助金を申請

地区家族会員・ライオンズカード推進委員会では、全国各地120か所以上のスタジオでクッキング教室を開いている“ABCクッキングスタジオ”において“男の料理教室”を開催した。今回の企画は「災害時にも対応できる男性メンバーのスキルアップ講座」として東日本大震災の教訓から“多くの男性メンバーに炊き出しや炊事ができればもっと積極的な奉仕活動ができるはず”との同委員会の考えから開催されたもので、同時に家族会員の招請、被災地の特産品の利用なども考慮された内容となっており、開催された2013年2月3日(日)には銀座、汐留、丸の内、新宿の各会場に予定を上回る応募者があった。スタジオ内では懸命に料理に取り組む男性メンバーらが、明るい表情で料理教室を楽しんでいた。

この地区委員会の活動企画は国際協会のプログラムにも沿った形で進められており、小川晶子委員長は2年連続して国際協会のライオンズクラブ家族会員プログラムの補助金を申請して承認を受けており、今回の活動にも役立っている。同委員長は「今回はスタジオの都合により多摩地区のメンバーには不便をおかけしたが、多くのメンバーに参加いただきとてもうれしい」と話している。同委員会では3月10日(日)新宿中央公園で行なわれた“復興イベント”にて炊き出し訓練を実施し、地区内の多くのメンバーから注目されていた。

汐留会場



銀座会場



新宿会場



丸の内会場



復興イベントにて炊き出し訓練



キャビネットだより

“第3回青年アカデミーメンバー交流会”を開催

2月16日

地区青年アカデミー委員会



2013年2月16日(土)都内の貸会議室に於いて地区青年アカデミー委員会主催の“第3回青年アカデミー交流会”が行われた。この日参加したメンバーは約90名で地区ガバナー、幹事、事務局長らを含む地区内のメンバー約80名に加え、333-E地区、333-C地区さらに334-E地区のメンバー13名が参加した。今回のセミナーテーマは“崩壊か発展かライオンズの未来は”「ライオンズクラブが活発になるために、今何をすべきか」とし、世代や地域を超えたメンバー同士の意見交換を呼びかけた。



アイバンク協会認定サポーター養成講座及び臓器移植セミナーを開催

2月8日

地区献眼・献腎臓器移植委員会



2013年2月8日(金)キャビネット事務局近くの“AP西新宿”において地区の献眼・献腎臓器移植委員会が主催する「アイバンク協会認定サポーター養成講座」が開催された。講師に招かれた330複合地区献眼・献腎・骨髄移植委員会委員長の元地区ガバナーL池崎道男がセミナーの趣旨を説明したのち、第一部「献眼セミナー」では日本アイバンク協会の西田輝夫氏が“角膜移植のサポーター”を呼びかけ、現在3000人以上もの患者が待っている現状を話した。第二部「臓器移植セミナー」では東京医科大学八王子医療センター・東京都臓器移植コーディネーター櫻井悦夫氏から臓器移植を希望する患者は国内の年間死亡者約125万人の内、脳死者はわずか1%であり、移植希望者の待機は15年から20年待っているなどの現状が説明され、セミナーに参加したメンバーからも熱心に聞き入っていた。

330-A地区指導力レベル向上セミナーを開催

1月25日～2月26日

地区指導力育成委員会



2013年1月25日(金)AP西新宿に於いて地区指導力育成委員会が主催する“指導力レベル向上セミナー”が開催され、地区内のメンバーおよそ50名が参加した。セミナーでは同委員会が作成した「クラブ例会を通じて覚えるライオンズの知識2012～2013」を教材に「ライオンズの歴史から例会運営、マンスリーレポート(月次報告)や会計処理などクラブメンバーにとって大変参考になるセミナーとなった。なお、同委員会ではこの後、同所にてそれぞれの地域(リジョン)を対象に計4回セミナーを開催したのち、場所を立川市に変えて12R、13R、14R地区を対象にしたセミナーも実施した。



第1回 LC 日本大学OBによる集い 桜友会

2月20日

LC桜友会



LC桜友会はライオンズクラブに所属する、日本大学出身者の交流を広げて行く事を目的として発足いたしました。年間、1～2回程度開催し親睦を深め、各クラブの発展に寄与してまいりたいと思っております。また、母校と、学生後輩たちへの積極的な支援と協力をしていきます。記念すべき第1回目は2013年2月20日(水)に日本大学校門会館にて100名を超える方々が集まり、開催いたしました。334-B 地区より国際第二副会長候補のL 山田實絳様も大会会長(OB)として、ご出席を頂き、また、阿久津隆文ガバナーもOBとしてご出席頂きました。後輩たちの空手演武やチャアリーダーのアトラクションもあり全員で校歌を歌い、懐かしい学生時代に戻り、和やかな時間を送ることができました。なお、正式な名簿がないため、開催のご連絡に不徹底がありました事をお詫び致します。今後の運営を迅速に進めるため今回の開催通知連絡が未着のメンバーの方々には以下にアクセスにてご一報頂きますようお願いいたします。

東京都中央区銀座2-8-19 GINZA 2nd Ave.3ビル 5F
Fax:03-3562-6151 実行委員長 L藤井清一(桜門ライオンズクラブ)
(以上、情報は関係者からの投稿によるものです)

地区内クラブだより

青少年育成に注力する東京新宿ライオンズクラブ

2月11日

“東京新宿ライオンズクラブ旗争奪戦”少年少女レスリング選手権大会を主催

2013年2月11日(祝)新宿区のコスミックセンターに於いて“第26回少年少女レスリング選手権大会”「東京新宿ライオンズクラブ旗争奪戦」が行われた。同大会は今年で26回目となるが、長年、東京新宿西、東京新宿北ライオンズクラブが支援してきたが、数年前より東京新宿ライオンズクラブが支援しており、今回も「東京新宿ライオンズクラブ旗」を争奪する選手権として個人、団体戦が行われた。埼玉、千葉、東京、神奈川各県内の42クラブ約480名の選手のほか台湾からも1クラブ2名の選手が参加した。選手は幼児、1~2年生、3~4年生、5~6年生、女子5~6年生の各部門に分かれてトーナメント方式で行われた。今大会は出場選手が多いため、大会会場となった新宿コスミックセンターは朝早くから選手や家族、関係者らが集まり、会場内外で準備体操や練習する選手らがあふれ、熱気に包まれた。午前10時ごろから始まった試合は午後4時過ぎまで熱戦が繰り広げられ、それぞれの部門で入賞した選手は、金、銀、銅のメダルと共に賞状を受け取り、嬉しそうにほほ笑む選手もいた



が、ほとんどの選手はまだ、試合の興奮が冷めやらないせいか緊張した面持ちで受け取っていた。中には負傷してドクターから治療を受ける子供や、患部を冷やす氷を受け取ったり、鼻をすすりあげて顔をこする選手もいて、見ている観客も心を打たれた。関係者の日本レスリング連盟副会長の今泉雄策氏の話によると、「この連盟からは多くの有名選手が生まれている」という、また、少年少女レスリング連盟の鎌賀秀夫氏(同大会競技委員長)も「年々、選手のレベルが高まってきているので、今後が楽しみ」と話している。東京新宿ライオンズクラブでは、このほかにも「ライオンズ旗争奪新宿区少年サッカー大会」(第31回は1月20日~3月3日開催)も主催しており、「未来の宝、国の宝」である子供たちに、スポーツを通して“負けず嫌いの心、強い心”を育てる(同クラブ会長)として青少年健全育成のための活動を継続して行っている。



地区内クラブだより

ライオンズクラブ在籍54年、まさに歴史を知り、伝統を受け継ぎ今も元気に人形造り

2月13日

東京浅草LC



地区内で三番目のクラブに在籍54年のメンバー

東京浅草ライオンズクラブは1959年に設立され、今年で54期目を迎える地区内7番目に結成された古参のクラブ(東京-日本橋-浅草)だが、同クラブには在籍54年目を迎えるL金林真多呂がいる。当クラブの第17代会長(1974-1975)だが、入会はそれよりも15年前の1959年12月(クラブ結成と同じ年)である。L金林真多呂は木目込み人形の作者“二代目金林真多呂”としても知られ、80歳になる今もほとんど毎日人形造りに励んでいる。そんなL金林真多呂を“人形師金林真多呂”としてもお話を伺うために同氏を訪れたのは、台東区上野にある株式会社真多呂人形本社である。同社ビル内には真多呂人形学院もある。

今でも毎日元気に人形造りに励むL金林真多呂

ビル内の会長室の奥には自らが人形造りをする作業場がある。今もほとんど毎日人形造りに励んでいるという。ビルのエレベータで出会った年配の女性は、ビル内にある人形学院で人形造りを習っているという「大変ですね!」と声をかけると「いえ、いえとても楽しいです」と笑顔で答えてくれた。実際に、へらを器用に動かし操りながら人形の原型造りを見せてくれた真多呂(L金林)さんにも「大変ですね!」と話しかけると同じように「いや、いや楽しいですよ!」と返ってきた。そんな元気な笑顔で迎えてくれた真多呂さん(L金林)に浅草ライオンズクラブの昔話を尋ねると「昔のメンバーはずいぶんなくなっちゃったけど、よく覚えています。何しろ私が入会したのは20才代でしたから」「みんなまじめで、あの頃も楽しかった!」…と、

昔の記録を見せてもらうと…

同クラブの記録を見ると、真多呂さんが会長だった年には納涼で岐阜県の長良川へ行ったり、例会のゲストには当時田中首相の秘書だった鳩山邦夫さんや宝井馬琴さん、西村小楽天師匠、杉靖三郎さん、政治評論家の麻生良方さんや、当時参議院議員の下村泰さん、森下泰さん(森下仁丹社長)らをそれぞれ例会に招いて話を聞いたようだ。さらに夜の懇親会は浅草の“暮六つ”で行ったりしていたようだ。(この年の年次大会は秋田で開催されたようで、飛行機で往復したのか飛行機の前の集合写真を見つけた)今でも真多呂さんは例会に休まず出席しており、夫婦同伴の機会があれば奥様と共に出席して仲の良さを見せているという。



木目込み人形とは…

さて、ひと通りお話を聞いたあと、真多呂さんが打ち込んできた“木目込み人形”を見せていただいた。古くは真多呂さんのおじさんが造ったという人形まであり、歴史を感じさせる空間であったが、整然と並んだひな人形は、息をのむほど美しい。思わず“すごいですね!”と驚くと「またいつでも見に来てください。買い物でなくても歓迎しますよ」と真多呂さんは人懐こい笑顔で答えてくれました。詳しくは www.mataro-doll.com へ

東京浅草ライオンズクラブの例会に参加

L金林真多呂を紹介してくれたのは今期の東京浅草ライオンズクラブの会長L菱岡敏光だ。菱岡会長はクラブのメンバーのために、病み上がりの体で東奔西走している。我々取材班は、後日同クラブを例会訪問することとした。ここでも元気なL金林真多呂に会うことができた。相変わらず元気で優しい笑顔で迎えてくれた。いつまでもお元気で…(取材: 広報委員会)



40周年記念事業として避難地域の子供らを招待

3月1日

東京尾張町LC

東京尾張町ライオンズクラブは今年、結成40周年を迎えるにあたり、慣例である記念式典の開催を控え、原発事故から2年経つ今なお、復興の手の行き届かない被災地の方への支援事業を実施することにした。検討した結果、福島第一原発事故警戒区域にあって全町避難を強いられている福島県浪江町の浪江小学校の子供たちを支援することに決め、以前は560名在籍していた生徒も現在ではわずか30名となり、二本松市内の廃校を利用し再開校した同校を3月1日(金)に訪問し、記念品とともに「東京スカイツリーへの招待状」を手渡した。かつての友だちと離れ離れになり、仮設住宅での不便な暮らしなどで塞ぎこんでいるように見えた子供たちだったが、この日まで伏せられていた「東京への招待」が校長先生より発表された



瞬間には、どよめきとともに喜びにあふれていた。4月26日、スカイツリーから望むパノラマに目を輝かせている子供たちを想像し、今から待ち遠しく思う。(同クラブメンバー)

“親と子のはじめてのコンサート”を主催

3月2日

東京世田谷LC



2013年3月2日(土)東京世田谷ライオンズクラブは、世田谷区民会館ホールに於いて青少年育成事業として“親と子のはじめてのコンサート”を主催した。「0才から入場できる、家族みんなで楽しめるコンサート」をテーマとするこのチャリティコンサートは同クラブでは3年ぶり2度目の開催で、入場者は子ども約240名を含む約800名。出演者はスタジオジブリ作品の主題歌、挿入歌でお馴染みの井上あずみと6歳で歌手デビューした実娘のゆーゆで、「となりのトトロ」「天空の城ラピュタ」「魔法の宅急便」などを歌うと、子どもたちも元気な声で大合唱。ゆーゆがNHKみんなのうたで人気の「6さいのばらーど」を披露すると会場は一段と盛り上がった。また、今回は上智大学の学生たちもステージでゴスペルを披露したり、会場設営をサポートするなどコンサートの運営にも協

力した。コンサートの収益金は「ひさい地の子どもの写真展・開催費用」、病児とその家族のための宿泊施設「ドナルド・マクドナルドハウス」に寄付される。



地区内クラブだより

“忘れない”防災フェア&チャリティバザーを開催

3月10日

東京新都心LC



2013年3月10日(日)東京都新宿区の新宿中央公園「水の広場」に於いて東京新都心ライオンズクラブと西新宿角三町会が主催する“忘れない”防災フェア&チャリティバザーが開催され、地区内外の15クラブがブース出店したほか、地区家族会員・ライオンズカード推進委員会やNTT東日本、東京都水道局、陸上自衛隊、西新宿消防署なども出店した。このほか、伊藤園、ロッテ、清水屋食品、紀州屋なども後援するという一大イベントとなった。同クラブでは、昨年の同イベントに於けるチャリティバザーなどで得た資金で車いすを運べる“福祉車両”を購入し、被災地の宮城県南三陸町の社会福祉協議会に贈呈している。今回も引き続き被災地の支援が行われる。



護国寺での震災復興イベントに協力

3月10日

東京ワンハンドレッドLC



2013年3月10日(日)東京文京区の護国寺にて行われた東日本大震災復興イベント「祈り」に東京ワンハンドレッドライオンズクラブが被災地の特産品販売などで協力した。



薬物乱用防止教室に対し感謝のメッセージ

2月7日

東京田無LC

東京田無ライオンズクラブに西東京市立住吉小学校の6年生の生徒から「感謝のメッセージ」が届いた。メッセージは同校の6年生全員から寄せられ、「子供たちの感想から、真剣に受け止め聞いていたのがわかります」(同校副校長)や「自身も改めて知る機会となった、今後の指導に生かしていきたい」(担任教師)との先生方のメッセージまで添えられていた。さらに、同校の学級通信「笑顔」にも「保健「薬物乱用防止教室」として記事も同封されていた。「子供たちの関心の深さと先生方にも喜んでもらったのがうれしい」と講師として活躍したL大澤力(同クラブメンバー)は話している。



光が丘公園に毎年桜の木を植樹

2月2日

東京すずしろLC



東京すずしろライオンズクラブでは、結成以来毎年1年に1本ずつ、練馬区の光が丘公園に桜の木を植樹している。11本目となる今年も2013年2月2日(土)練馬区長や地区ガバナーを招いて植樹式を行った。また、毎年桜の季節には、植樹した桜の木を眺めながら、関係者を招いて「お花見例会」を行っているという。



福島県の川内村に支援金

1月12日

東京東久留米LC



社会福祉協議会などで交流

東京東久留米ライオンズクラブは、同クラブのメンバーが会長を務める地元の社会福祉協議会を通じて交流のある福島県の川内村を支援している。福島県の川内村は原子力発電所の事故で避難地域に指定され、一時住民は全員避難したが、その後避難地域が指定が解除され300人ほどの住民が戻って生活しているという。そうした事情を知る同クラブでは、昨年の7月にクラブメンバーらが現地を訪れ、町長らに面会し支援金を手渡したほか、今年の1月12日にも、地元のお寺でバザーを開催したり、ボーイスカウトの協力を得て募金活動をするなどして得たお金を川内村の支援に充てている。



ミャンマー孤児院交流活動報告

2月11日

東京羽田LC



▲シュエダゴン・パゴダ(ヤンゴン)
ミャンマーで最も有名なパゴダ(仏塔)



▲ヤンゴンにあるビルマ平和記念碑



▲笑顔で迎えてくれた孤児院の子供たち

ミャンマーは、歴史的にも日本と大変深い関わりのある国です。東南アジア最西端に位置し、面積は日本の約1.8倍・人口は6242万人。人口の7割を占めるビルマ族を中心に、100以上の民族が暮らしています。現在、予想以上のスピードで民主化・改革が加速していますが、長く軍事政権が続いた影響もありアジアの中では最貧国に属する国です。貧困等の理由で、教育や医療が受けられない子供たちがたくさんいます。栄養失調等、5歳未満児の死亡率は約10%、10人に1人は5歳の誕生日を迎えることが出来ない大変厳しい状況なのです。

今回訪れたスタウン・ピ孤児院は、寺院が支援を受けて運営する僧院併設の孤児院です。ヤンゴンから車で約1時間のタンニンにあり、ここで暮らす子供たちの数は約500名。1990年よりボランティア活動を始めた「バダンタ ナンダ ワンタ僧侶」が中心となり、貧しい子供たちや孤児などの支援と教育を行っています。



◀仏教の国
ミャンマーは、国民の90%が敬虔な仏教徒。イメージとは全く異なり穏やかな国民が暮らすとても安全な国です。ごく最近まで、都市部では強盗などが一度も起こらなかった程、治安が良いとの事。



▶孤児院での授業風景
「教育を受けていない子供たちは将来、社会的に自立をすることが難しくなる。さらなる貧困の連鎖を生まない為にも教育は重要。」とワンタ僧侶は語る。



◀仏教の国
ミャンマーは、国民の90%が敬虔な仏教徒。イメージとは全く異なり穏やかな国民が暮らすとても安全な国です。ごく最近まで、都市部では強盗などが一度も起こらなかった程、治安が良いとの事。



▲昼食時の様子



▲身体を洗う
奥に写っているのが雨水を溜めておくタンク。手前の囲いで身体を皆で洗う。



▶女の子たちの寝ている建屋
一つのベッドに2~3名が寝ている



◀男の子たちが寝ている建屋
男の子は動き回るので床に雑魚寝。



◀羽田ライオンズクラブより、1000米ドルのドネーションを手渡す。子供たちの為に使って欲しいと伝える。

ワンタ僧侶 「この孤児院は、皆様からの暖かい寄付により運営できている。心より感謝致します。子供たちの未来の為、大事に使わせて頂きます。」

今回の訪問で、日本では当たり前のように享受している教育・医療・水・食料などの重要性を再認識しました。ミャンマーは豊富な天然資源、低コストの労働力、地理的重要性・優位性などから「東南アジア最後のフロンティア」として注目されています。今後、経済状況も改善されて行くことでしょう。しかし、今日明日に改善される事ではなく、10年・20年・30年と長い年月のかかる問題だと思えます。これから成長して行く国、将来その担い手となる子供たち。今を大切に、少しでも力になれるよう、羽田ライオンズクラブは今後も見守り続けたいと考えております。

晴海トリトンスクエアにて障害者の絵画展

2月13日～2月15日

東京晴海LC



2013年東京晴海ライオンズクラブは、ショッピング施設やオフィス、レストランなど様々な施設が入居している複合施設“晴海トリトンスクエア”のメインロビーに於いて、毎年実施している“口と足で描く絵画展”を今年も実施した。同施設の運営会社を運営するクラブメンバーの協力を得て実施しているもので、毎年多くの来訪者や通行人などが関心を寄せている。展示された絵画は90点近くあり、どれも作品だけ見ると“口や足で描いたもの”とは思えない立派な作品である。若者は「最初は気付かなかったが、口や足で描かれたものとは…」と驚き、募金箱に千円を投じた。こうした募金者にはクラブからお礼に「図書券」が渡され「毎年多くの人が協力してくれます」とクラブ会長らは嬉しそうに話していた。

第48回善行少年少女表彰式

3月3日

東京江戸川ライオンズクラブ主催、5R2Z合同協賛



2013年3月3日(日)、時代を担う子どもたちが明るく健康に育つことを願い、区内において善行のあった少年少女を表彰し、活動を讃えるとともに、更なる活動の推進を図ることを目的

とした善行少年少女表彰式が東部フレンドホールにて行われた。48回目を数える本年は、東京江戸川LC会長L田中壽一の元、江戸川区長多田正見様、330A地区ガバナーL阿久津隆文を始め、区内警察3署、消防3署、こども連合会、ライオンズクラブ関係者の皆様などをご来賓としてお迎えし、139名と3団体を表彰し、昭和40年度(41年)の第1回から数えた延べ人数は8,564名と45団体となった。(レポート：L上野繁幸)



伝統音楽“雅楽”を実体験

2月19日

東京高輪LC



平成25年2月19日(火)東京高輪ライオンズクラブは、伝統ある雅楽を音楽授業の一環として、体験してもらおうと港区内の小学6年生約100名を高輪区民センターホールへ招待した。「青少年育成活動の一環としてこのような伝統音楽を体験出来る事は素晴らしい」と地区ガバナーが挨拶し、東京高輪ライオンズクラブ会長は、「初めて聞く子も多いと思うが、この催しは今回で5回目となる。日本古来の伝統音楽を体験、勉強して欲しい」と語った。港区立白金小学校高橋校長は「なかなか、雅楽を聴いたり、触れ合うことは小学生には珍しい事。このような素晴らしい体験が出来る事を東京高輪ライオンズクラブの皆さんに感謝する」とお礼を述べた。小学生らは珍しい楽器を見て「これは、何で出来ているのですか?」等質問をしていた。



第28回中国帰国者日本語発表会

2月17日

東京セントラルLC

平成25年2月17日(日)東京セントラルライオンズクラブは、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、第28回中国帰国者日本語発表会を開催した。この、催しは中国帰国者の皆さんが日本語の学習や日



本での生活環境など、体験した事を日本語で発表する。中国帰国者の為に設立された各NPO法人の協力もあり、会場には、阿久津ガバナーをはじめ、山浦元国際理事、石井元ガバナー、元内閣総理大臣菅伸子夫人、ライオンズ関係者、中国帰国者等100名あまりの参加者が集まった。

発表会の冒頭で東京セントラルライオンズクラブ勝泰之会長は、「この発表会が、中国残留邦人の皆様が帰国後に行う、日本語の勉強、生活の応援が出来る事を期待しています」とし、阿久津ガバナーは、「東京セントラルライオンズクラブが行う中国帰国者日本語発表会も今回で28回目を迎える。今後も中国帰国者のため、発表会を継続していくよう望みます」と語った。発表会では、13人の中国帰国者の皆さんが、帰国までの経緯や日本語での言葉の行き違い等の経験を流暢な日本語で発表した。その後、最優秀賞、会長賞等が発表され、賑わいの中、幕を閉じた。発表者の一人は、「帰国後、戸惑いもあったが、今は皆さんの支えの中幸せを感じている。今後たくさんの人にこのような場を設けていただきたい」と笑顔で語った。東京セントラルライオンズクラブはクラブアクティビティとして今後もこの発表会を継続して行く。



地区内クラブだより

思い出の成人式

2月17日

東京荒川LC



平成25年2月17日(日)7R1Z東京荒川LCは、諸々事情により、区の一
般成人式に参加できない12名障害者の方々や、保護者を招き、サンパ
ール荒川にて、今回で8回目となる「思い出の成人式」を開催した。

式典では、阿久津ガバナーをはじめ、西川荒川区長、三嶋社会福祉協
議会会長(荒川副区長)が祝辞を述べた後、「思い出のアルバム」と題し、
障害者の方一人一人の成長の記録をプロジェクターにて、当時の思い出
や出来事などアナウンスを交えながら放映した。

また、クラブと荒川区から新成人へ記念品の贈呈が行われ、新成人から
は、今までの感謝と新成人としての決意が語られた。

懇親会では、和やかなムードの
中、新成人及びご家族へのインタ
ビューや障がい者支援施設の仲間
からの歌と贈る言葉が披露された。
また、新成人からは、両親への感謝
や花束の贈呈が行われ、感動に包
まれながら幕を閉じた。



“ろう学校”卒業生の成人式を開催

1月14日

東京巣鴨LC

感動を呼ぶ成人式を…

東京巣鴨ライオンズクラブでは、地元の
都立ろう学校のイベントに参加するなど
長い間活動を支援しているが、このたびは
“感動を呼ぶ成人式を”との考えから今年
成人式を迎える同校の卒業生35人を招き
成人式を行った。成人式は同校で行われ
たが、東京巣鴨ライオンズクラブではこの
成人式を支援した。2013年1月14日都立
大塚ろう学校にて行われたが、この日は成
人式を迎えた卒業生のほか関係者らが約
200名集まって盛大に執り行われた。成人
した子供の親が代表して「ここまで育てて
いただいてありがとう」と感謝の花束が学
校関係者らに贈られると、会場は大拍手に
包まれ、まさに感動の成人式となった。



毎日新聞の広告が反響を呼ぶ

ライオンズクラブは、日本を元気にするための 様々な活動を支援しています。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区(東京)は、青少年に夢と希望、障害者の方々に自信と誇りを持っていただけるよう、
スポーツなどを通じた幅広いサポートを行っています。



ライオンズクラブのモットーは
We Serve
(われわれは奉仕する)です。

Liberty 自由を守り
Intelligence 知性を重んじ
Our われわれの
Nations 国の
Safety 安全をはかる

ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体です。

私たち、ライオンズクラブの会員は、それぞれの地域
で多岐にわたる社会奉仕活動を行っています。情熱と思いやり
の心で、地域にボランティアの情を注ぎ、社会へ奉仕し
る奉仕団体がライオンズクラブなのです。
地域の発展に貢献し、ご協力を得ながら社会貢献の
活動を行い、国内のみならず、より広い世界で(中国、
韓国、中国に設立した様々な(支援・育成・啓蒙)活動を
展開してまいります。私たちライオンズクラブは、全世界で1,300万人の会員数を誇る
世界最大の社会奉仕団体です。

ライオンズクラブの歴史

ライオンズクラブは、1917年(大正8年)、アメリカ
の青年実業家メルビン・ジョーンズによってシカゴで
誕生しました。
ライオンズの理念は多くの人々の心をとり、その後、
たいへんスピードでアメリカ国内はもとより、世界各国
にクラブが結成されていきました。
日本では、1952年(昭和27年)、慈善な対日感情の
なか、フィリピンのマニラ・ライオンズクラブが協賛を賜って東京ライオンズクラブ
が結成された。翌年が母国クラブ数は3,000を超え、世界第3位のライオンズ国です。

国名	クラブ数	会員数
世界	46,701	1,361,230
日本(本部別)	3,222	103,368
東京(330-A地区)	203	8,064

2012年11月調査

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区キャビネット事務局 | 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-10-17 新宿ダイカンプラザB館2層 Tel: 03-5330-3330 / Fax: 03-5330-3370
E-mail: cab@lions330-a.org URL: http://www.lions330-a.org

第49244号 印刷：1999年10月15日 発行：2013年1月15日 発行所：毎日新聞社 印刷所：毎日新聞社 2013 0115

耐震基準適合ビル4割

新毎日

1月15日(火)
33日号(平成25年)

発行所：東京都千代田区千代田1-1-1
〒100-8001 毎日新聞社421号室
毎日新聞株式会社

健康、贈ります
クロススタニン

0120-130501
http://www.mainichi.co.jp

NEWS

王体部ベヨ 15所

診断義務化へ

2013年1月15日(火)毎日新聞朝刊
に全6段のカラー広告(ライオンズク
ラブ国際協会330-A地区として)が掲
載され、地区内外に反響が広がって
いる。333-C地区のメンバーからも「広告
を見て驚いた、思わず心が高揚した」な
どと連絡があったという。

第14回東京都障がい者 スポーツ大会

平成25年6月1日(土)、2日(日) 10:00開会

開催場所：駒沢オリンピック公園運動場



第14回東京都障害者スポーツ大会

兼 第13回 全国障害者スポーツ大会派遣選手選考会

兼 第13回 全国障害者スポーツ大会リハーサル大会

●主催 東京都／公益社団法人東京都障害者スポーツ協会
 ●協賛 第14回東京都障害者スポーツ大会実行委員会
 ●特別協賛 特別区民会、東京都民会、東京都庁、ライオンズクラブ協会330-A地区、
 (社)東京都社会福祉協議会、東京曹軒銀行
 (社)東京都社会福祉協議会、東京曹軒銀行
 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会
 〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ12階 TEL:03-5206-5586 FAX:03-5206-5587

お問い合わせ先

競技日程

ライオンズクラブは知的障害部門上競技を特別協賛しています。

競技の開始式及び閉会式は以下に行なわれます。

6月1日(土) AM10:00 開始式

6月2日(日) PM 5:15 閉会式

場所：駒沢オリンピック公園総合運動場

※メンバーの研修6月1日は9:30集合、6月2日は10:00集合にお願いします。

個人競技

●陸上競技(男子部門) 駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場

●陸上競技(女子部門) 陸上競技場

●水泳(身体障害部門) 陸上競技場

●水泳(知的障害部門) 東京都障害者総合スポーツセンター プール

●バレーボール(男子部門) 駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

●バレーボール(女子部門) 駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

●フライングディスク(身体・知的・精神障害) 駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場

●アーチェリー(身体障害) 三浦市大沢町公園特設会場

●ボウリング(身体障害) 三浦市大沢町公園特設会場

●ボウリング(知的障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(精神障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(知的障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(精神障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(知的障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(精神障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(知的障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(精神障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(知的障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(精神障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(知的障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(精神障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(知的障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(精神障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(知的障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(精神障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(知的障害) 駒沢スポーツセンター

●ボウリング(精神障害) 駒沢スポーツセンター

共に汗をかきましょう!



皆様の応援が、何よりの力になります。
駒沢へ万歳に行こう!

2013 主要行事日程表

キャビネット会議

- 第3回 2013年3月18日(月) AP西新宿 ※キャビネット構成員
- 第4回 2013年6月10日(月) 東京プリンスホテル 会議・懇親会 ※元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・SPA・複合地区役員

OSEALフォーラム

- 第52回東洋・東南アジア・ライオンズ(OSEAL)フォーラム 2013年 11月7日～10日=MD308 シンガポール・マレーシア

国際大会

- 第96回国際大会 2013年7月5日～9日 ドイツ・ハンブルグ
- 第97回国際大会 2014年7月4日～8日 カナダ・トロント
- 第98回国際大会 2015年6月26日～30日 米国・ハワイ州ホノルル
- 第99回国際大会 2016年6月24日～28日 日本・福岡
- 第100回国際大会 2017年6月30日～7月4日 米国・イリノイ州シカゴ

年次大会

- 330-A地区(第59回) 2013年4月20日(土) 東京プリンスホテル
- 330複合地区(第59回) 2013年5月12日(日) ホテルニューオタータ

ライオンズクラブ国際協会 330-A地区 第59回年次大会 2013年4月20日(土)

■代議員会

登録 受付 09:00～09:50 ※代議員のみです
 代議員変更 09:00～09:30 ※遅れますと選挙会で投票ができません。
 代 議 員 10:00～13:30 総会／選挙会／分科会／昼食／総会再開

■式 典

登録 受付 12:00～14:30 ※事前登録を必要とします。
 式典 一部 14:00～14:50 年次報告／国際第二副会長候補者挨拶
 国際アワード表彰／記念事業発表
 式典 二部 14:55～16:25 記念講演「この国の行方」
 猪瀬直樹 東京都知事



■晩餐会

入場 受付 16:30～17:30 ※事前登録を必要とします。
 晩 餐 会 17:00～19:30
 アワード表彰(優秀賞・特別賞・ガバナー特別賞他)
 アトラクション検討中
 お楽しみ抽選会(商品・被災地復興支援物産多数)
 ※被災地復興支援特別メニュー企画

特別企画

キャビネット委員会活動の後方および活動報告 ※イベント広場にて開催予定
 東日本大震災復興支援活動 ※イベント広場にて物産販売予定

記念催事 日本子守唄協会「話と歌」
 女優 藤村志保 他



※ガバナーエレクト紹介／アワード表彰(敬寿賞のみ)／複合推薦アワード発表

ご注意 ※年次大会パンフレットに記載されている時間は変更前のものです。お間違いないく

アワード表彰者は表彰手順を受賞クラブ宛にご案内します。事前によくご覧ください。※晩餐会贈呈アワード受賞者及びクラブは晩餐会登録をお願いいたします。
 立会演説会 4月 6日(土) 14:00～16:00 於:立川グランドホテル予定
 4月15日(月) 13:00～15:00 於:東京プリンスホテル予定 ※代議員の方はどちらかの立会演説会に参加をお願いいたします。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
 地区ニュース 第4号(Spring号)

The
 Lions
 News

発行日 2013年3月20日
 発行 広報委員会

広報委員会

委員長 柴田 誠(新都心)
 編集長 宇埜 正純(巣鴨)
 編集委員 山口 聖之(中央南)
 桂 太郎(世田谷)
 矢追 秀紀(ウエスト)
 新田 尚志(麻布)
 荒川友美子(千代田)

編集委員 後藤 裕文(法 政)
 増田 正明(田 無)
 中吉 淳喜(羽 田)
 高橋 美作(羽 村)
 特派員 秋田 克之(武蔵野)
 津守 勝男(大 森)
 秋保 朋芳(小金井)

ライオンズクラブ国際協会
 330-A地区キャビネット事務局
 〒160-0023
 東京都新宿区西新宿7-10-17
 新宿ダイカンプラザB館2F
 TEL (03)5330-3330
 FAX (03)5330-3370
 E-mail cab@lions330-a.org